



この広報誌は、皆様にご協力いただいた赤い羽根共同募金を財源として作成しています。

あぐいの

No.145
2024.5.1

福祉



3月18日阿久比町立中央公民館にて知多半島料理研究家として活躍されているENYAさんを講師に、「はじめての発酵ごはん」の講座を開催しました。

この講座は、第2次阿久比町地域福祉計画推進事業「パートナーシップでつながる担い手ネットワーク会議」が企画し、特に30代～50代の若い世代の出会いのきっかけとなる講座として開催しました。

塩こうじと醤油こうじの作り方や、それを利用したレシピを参加者で作り、参加者の皆さんで交流を深めました。



塩こうじのグリルチキンと発酵グリーンソース 他2品

主な内容

- 会員募集にご協力をお願いします
- 令和6年度事業計画及び予算の概要
- 社会福祉協議会活動状況
- 地域いきいき福祉活動
- あぐいグイグイネット
- スポットあぐい
- 善意をありがとう
- 職員紹介
- ヘルパー募集
- 雑記



目の不自由な方があぐいの福祉を利用できるよう声の広報ボランティア「あいうえお」の皆さんがCDに音訳録音しています。録音したCDは、利用希望者へ無料で送付します。

■ 問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター 電話 48-1111 内線1523・1524 ■

会員募集 にご協力をお願いします

阿久比町社会福祉協議会は、住民の皆さんが主体となる“福祉のまちづくり”に取り組んでいます。会費は、住民の皆さんによる福祉活動の担い手となるボランティアの育成や支援などの貴重な財源となります。

社会福祉協議会会員の入会にご理解、ご協力をお願いします。会費の使い道は、令和6年度事業計画や予算もご覧ください。

令和5年度会費実績

4,302,800円

ご協力
ありがとうございました

会員の種類

- *一般会員……年額 500円
- *賛助会員……年額 2,000円
- *特別会員…1口年額 5,000円

会費の使い道

“福祉のまちづくり”を推進するため、次のような事業を行っています



草木地区サロン

地域いきいき福祉活動の推進

社会福祉協議会では、地域いきいき福祉活動（サロン活動や見守り訪問等）を推進しています。

ボランティア活動の推進

ボランティアセンターでは、福祉活動の担い手作りとして各種のボランティア講座を実施しています。



災害ボランティア
コーディネーター養成講座



福祉実践教室

福祉実践教室の開催

町内のすべての小中学校で、車いす、手話、認知症、発達障がいなどへの理解を図る目的で福祉実践教室を行っています。

車いすの貸出事業

介護保険を利用されていない方で、外出等に車いすの必要な方に、10日を限度に無料で貸出しています。

子ども用も
あります



福祉相談活動の推進

心配ごと相談、コミュニティソーシャルワーカーによる相談など、どこに相談していいかわからない身近な相談を受け、一緒に問題解決のお手伝いをします。

令和6年度事業計画、予算概要

事業計画

【基本理念】

すべての人が地域で共に生き、支え合う『つながる』まちあぐい

【事業概要】

1. 法人運営事業

- ◎理事会・評議員会・監査の開催
- ◎評議員選任・解任委員会の開催
- ◎広報「あぐいの福祉」の発行（赤い羽根）

2. 地域福祉推進事業

- ◎社会福祉協議会会員募集
- ◎地域いきいき福祉活動助成
- ◎車いすの貸出し
- ◎福祉相談
- ◎地域福祉計画推進事業（町受託）

3. ボランティアセンター活動事業

- ◎ボランティア情報の発行（赤い羽根）
- ◎ボランティア相談
- ◎ボランティア保険の加入啓発
- ◎ボランティア団体活動助成
- ◎災害救援・福祉救援活動の推進
- ◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- ◎小中学校での福祉実践教室
- ◎ボランティア入門講座の開催（町受託）
- ◎ボランティア交流会の開催（町受託）
- ◎声の広報の発行（町受託）
- ◎手話奉仕員養成講座の開催（町受託）

4. 赤い羽根共同募金配分金事業

- ◎共同募金運動の実施
- ◎みんなの敬老会への助成
- ◎障がい者大運動会への助成
- ◎福祉協力校の助成
- ◎一人親家庭レクリエーション大会の開催
- ◎福祉車両による送迎サービス活動
- ◎ホームページによる情報発信
- ◎生活困窮者への食糧支援
- ◎社会福祉大会の開催
- ◎福祉7団体への助成

5. 資金貸付事業（県社協受託）

- ◎生活福祉資金の貸付相談活動
- ◎くらし資金の貸付相談活動

6. 居宅介護事業

- ◎ホームヘルパーの訪問による居宅介護活動（訪問介護、総合事業）

7. 居宅介護支援事業

- ◎ケアマネジャーによるケアプラン作成相談事業

8. 心配ごと相談事業

- ◎心配ごと相談所を開所・相談活動（月2回）

9. 福祉基金運営事業

- ◎福祉基金への寄付の受付や基金の運用管理

10. 日常生活自立支援事業（県社協受託）

- ◎判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用料等の支払いを生活支援員と協力して行う活動

11. 重層的支援体制整備事業（町受託）

- ◎参加支援事業
- ◎多機関協働事業
- ◎地域福祉相談支援事業
※コミュニティソーシャルワーカーの設置
- ◎生活支援体制整備事業
※生活支援コーディネーターの設置

12. 福祉7団体の事務局をしています

団体名
★いきいきクラブ連合会
★子ども会連絡協議会
★身体障がい者福祉会
★手をつなぐ育成会
★遺族会
★母子寡婦福祉会
★精神障がい者家族会



予算概要 104,479,000円

項目	金額(円)	割合(%)
会費収入	4,302,000	4.1
寄付金収入	300,000	0.3
補助金収入	40,739,000	39.0
共同募金配分金収入	4,105,000	3.9
受託金収入	23,972,000	22.9
貸付事業収入	490,000	0.5
負担金収入	5,446,000	5.2
事業・その他収入	85,000	0.1
介護保険事業収入	4,362,000	4.2
福祉基金等利息収入	561,000	0.5
サービス区分間繰入金収入	14,699,000	14.1
繰越金収入	5,418,000	5.2
合計	104,479,000	

項目	金額(円)	割合(%)
法人運営、退職積立金事業	47,453,000	45.4
地域福祉推進事業	1,484,000	1.4
ボランティアセンター活動事業	1,316,000	1.3
共同募金配分金事業	4,841,000	4.6
資金貸付事業	4,865,000	4.6
居宅介護事業	5,970,000	5.7
居宅介護支援事業	1,459,000	1.4
心配ごと相談事業	56,000	0.1
基金運営事業	1,546,000	1.5
日常生活自立支援事業	335,000	0.3
重層的支援体制整備事業	20,455,000	19.6
サービス区分間繰入金支出	14,699,000	14.1
合計	104,479,000	

社会福祉協議会の活動状況

防災リーダー・災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催しました。

1月27日(土) エスペランス丸山にて、防災リーダー・災害ボランティアコーディネーター養成講座の最終回(全4回)が開催され、阿久比町からは22名が参加しました。

講師には、県内外で活躍される、NPO法人レスキューストックヤードの栗田暢之氏をお招きし、災害時の被災者とボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの紹介と模擬訓練を実施しました。

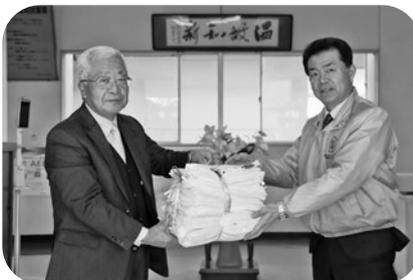
1月に発生した令和6年能登半島地震発生後も現地で活動されており、その様子を伝えていただきました。



いきいきクラブが町内の幼保小中高等学校・福祉施設等に雑巾を配布しました。

2月7日(水) 阿久比町いきいきクラブ連合会の皆さんが、会員に呼びかけて集めた約3000枚の雑巾を町内の幼保認定こども園、小中高等学校、福祉施設等に配布しました。

雑巾を受け取った関係者からは「日々の清掃活動などで大変助かっています」との声が聞かれました。



ボランティアグループ紹介会を開催しました。

3月2日(土) 中央公民館にて、現在ボランティアセンターに登録している34グループを知っていただくことを目的に「ボランティアグループ紹介会」を開催しました。

初回は令和3年に結成されたばかりの「あぐい地域ねこの会」の皆さんから日頃の活動などを紹介いただきました。あぐい地域ねこの会は、町内に住む野良猫がこれ以上増えないよう、TNR活動*や猫の譲渡会などを積極的に実施しています。ご興味のある方はボランティアセンターにお声かけください。

*TNR(ティーエヌアール):Trap(つかまえて)・Neuter(不妊手術をして)・Return(元の場所に戻す)



災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました。

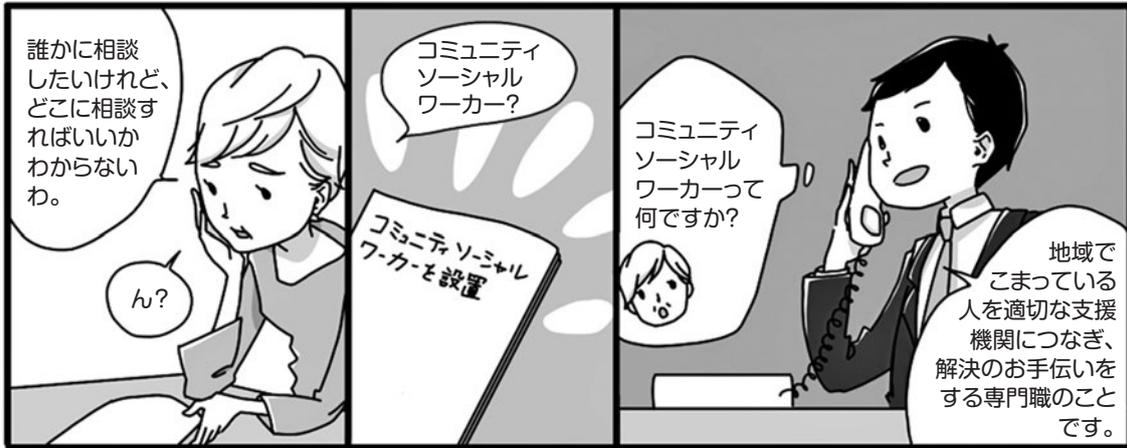
3月10日(日) 保健センター駐車場にて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。防災ボランティアあぐい、災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者が参加し、ボランティアの受付やその流れを模擬体験しました。

1月に発生した令和6年能登半島地震の影響からか、参加者からは「災害が起こった際には阿久比町ではどうなるのか!」と、真剣な声が飛び交いました。



地域の福祉相談員 「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」にご相談ください。

阿久比町では、地域に出向き住民のみなさんからさまざまな相談を受ける専門職「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」を配置しています。



こんなことで悩んでいませんか？ CSWが解決のお手伝いをします！

※高齢者、障がいをお持ちの方に限らず、子育て世代、生活困窮者など、支援を必要とするすべての地域住民とその家族を対象としています。

近所に心配な方がいるが、
どうしたらよいか…

子どもが長くひきこもり
状態で外出できない…

助けてほしいが、何を
相談したらいいかわからない

片づけられずに
物があふれている

◆「専門相談窓口にあてはまらない困り事がある…」 「いろいろな事が重なっている…」 そんな時はコミュニティソーシャルワーカー (CSW) にご相談ください！

地域の福祉相談員「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」
阿久比町社会福祉協議会 加藤・永田
電話 0569-48-1111 (内線1523) メール agui-sw@cac-net.ne.jp



こころのお悩み無料相談室を利用しませんか

この事業は、皆様から寄せられました赤い羽根共同募金の一部で実施します

こころの中でいろいろ悩んでいるが、どこに相談していいかわからない方、臨床心理士に相談しませんか？ 秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

●相談日	5月	28日(火)	8月	20日(火)	11月	26日(火)	1月	28日(火)
	6月	25日(火)	9月	17日(火)	12月	24日(火)	2月	18日(火)
	7月	30日(火)	10月	22日(火)			3月	25日(火)

- 場 所 / オアシスセンター 2階会議室
- 時 間 / 午後2時～4時
- 対 象 / 阿久比町在住の方
- 定 員 / 1日2組 (相談時間は1組45分間) (1組目は午後2時～、2組目は午後3時～)
- 費 用 / 無 料
- 申 込 / 阿久比町社会福祉協議会へ電話・メールで予約してください。
電話 0569-48-1111 (内線1523) メール agui-sw@cac-net.ne.jp

このコーナーでは、阿久比町で
気になるボランティア、NPO、
福祉施設の場所や活動の
ニュースをご紹介します。



『安心してボランティア活動をおこなうため』 ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険のご案内!

【加入手続き】は、阿久比町社会福祉協議会（オアシスセンター3階）に加入申込書がありますので、印鑑と掛金を持参して、お申込みください。

【ボランティア活動保険】とは、国内でのボランティア活動中、ボランティア本人がケガをした場合（病気は対象外）、ボランティアが損害賠償事故を起こした場合（自動車等運転中の対人・対物賠償事故は対象外）の補償をする保険です。個人でもグループでも加入できます。

◎補償期間：加入手続き完了日の翌日午前0時から2025年3月31日午後12時まで

1名当たりの年間保険料	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン掛金	250円	300円	500円
天災プラン (地震、噴火、津波によるケガも補償)	400円	500円	800円

【ボランティア行事用保険】とは、国内での福祉活動やボランティア活動などを目的とする団体等が主催する行事で、参加者がケガをした場合（傷害事故）や、ケガをさせた場合（賠償事故）の補償をする保険です。

◎補償期間：行事開催期間

◎日帰り行事は、1行事の参加者20名以上が対象。行事内容で次の3区分あり、加入は1名1行事です。

行事区分	A行事	B行事	C行事
活動内容	講習会、盆踊り、遠足（日帰り）、バス旅行、炊き出し、バザーなど	運動会、マラソン、キャンプ（日帰り）、市民活動向け防災訓練など	合気道、アイスホッケー、空手など
保険料	1名・1行事 30円	1名・1行事 127円	1名・1行事 248円

◎宿泊行事（1名につき）

行事区分	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
保険料	222円	272円	278円	328円	334円	340円

◎補償内容

	保険金の種類	ボランティア活動保険			ボランティア行事用保険
		Aプラン	Bプラン	Cプラン	
傷害補償	死亡保険金 後遺障害保険金	620万円	840万円	1,230万円	315万円
	入院保険金日額 (1日につき)	4,400円	5,400円	8,400円	3,300円
	通院保険金日額 (1日につき)	2,800円	3,200円	5,800円	2,200円
賠償補償	対人・対物共通 人格権侵害	5億円(限度額)			対人2億円 対物1千万円

このコーナーでは、今、阿久比町で
気になるボランティア、NPO、福祉施設
の場所や活動のニュースをご紹介します。



おもちゃ病院あぐいのご紹介

おもちゃ病院あぐいは、平成29年におもちゃ病院養成講座を修了した方を中心に、子ども達とその保護者の皆さんに「物を大切に作る心」を育み、地域のコミュニケーションの活性化にも寄与することを目的に結成されました。

現在会員は19名で、町内外からおもちゃドクターが集まっています。

壊れたおもちゃの受付は、月に3回、概ね第2・第4日曜日に中央公民館で、概ね第1木曜日に阿久比スポーツ村交流センターで行っています。

受付のできないおもちゃもありますので、詳細は「おもちゃ病院あぐい」で検索いただくか、右の2次元コードをご覧ください。

また、町内で不定期で開催されている「こども食堂ぽかぽか」の皆さんと協力して、手作りおもちゃコーナーを担当しています。

おもちゃが壊れてしまった際は、お気軽にお持ちください。



おもちゃ病院あぐい
ホームページ

直近の開院予定

令和6年

5月9日(木)／阿久比スポーツ村交流センター

5月12日(日)／阿久比町立中央公民館205号室

5月26日(日)／阿久比町立中央公民館205号室

令和6年

6月6日(木)／阿久比スポーツ村交流センター

6月9日(日)／阿久比町立中央公民館205号室

6月23日(日)／阿久比町立中央公民館205号室



詳しい症状を伺いながら、おもちゃをお預かりします。



次のこども食堂で作るおもちゃを開発中。
パラシュート?



定期的集まっておもちゃを修理。



縫い物のできる女性ドクターも募集中です。

福祉基金で住みよい福祉のまちづくり

福祉基金は、皆様の善意のお金を大切に積み立て、その利息を福祉の事業に使い住みよいまちづくりを進めようとするためのものです。



善意をありがとう

福祉基金寄付

令和6年1月から令和6年3月までにご寄付をいただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。

氏名	寄付内容		備考
	区分	金額	
匿名様	現金	1,000	
匿名様	現金	5,839	
匿名様	現金	100,000	

新職員を紹介します

令和6年4月から阿久比町社会福祉協議会に入社した新入社員3人を紹介します。どうぞよろしくお願いたします。

4月に入社し、役場内の1階にある地域包括支援センターで勤務することになりました。『仲間の笑顔』と『ありがとう』の言葉を大切に、地域の皆様から信頼していただけるよう、まずは一日も早く一人前になれるよう努力していきたいです。



佐藤 美幸

4月よりお世話になります「永田綾子」と申します。至らない点は多々あると思いますので、みなさんから阿久比町について教えていただきながら、みなさんと一緒に阿久比町を盛り上げていけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



永田 綾子

この春から、福祉活動専門員として働かせて頂いております中澤です。先輩方から多くのことを教わりながら、阿久比町民の皆様の期待に応えられるようにいち早く仕事に慣れ、一生懸命日々頑張らせて頂きますので、よろしくお願いたします。慣れるまでは至らないところもあると思いますが、町民の皆様からもご指導ご鞭撻を頂けると幸いです。



中澤 俊太

人権・行政・心配ごと相談

毎月第1・第3木曜日 9:30~11:30
中央公民館308号室

パートホームヘルパーを募集しています。私たちと一緒に働いてみませんか!

- 仕事内容 高齢者の家庭を訪問し介護等を行います。
- 資格 介護福祉士、初任者研修終了者、ヘルパー2級以上、看護師(准看護師)いずれかの有資格者
- 勤務時間 月曜日~金曜日、8:30~17:15の間で週に1日、1時間からでも可
- 給料 時給 1,300円
- 問合わせ 阿久比町社会福祉協議会 電話0569-48-1111(内線1523) 担当/品川



初夏を思わせる日差しの中、母の十三回忌法要もつつがなく終えました。毎日の生活に変化はありませんが、年号が平成から令和に変わって早六年を迎え、つくづく月日の流れの速さを感じます。そう思うのは、私が年を取ったこともあるのではありませんか。七十歳を超えてからは、特に感じるようになりました。

感じるというよりは、最近の季節の移り変わりが、子供のころに比べるとずいぶん変わってきているように思えます。春夏秋冬の自然の移り変わりを私たちの生活の一つひとつに感じるものがありました。ところが、「春メク」という季節をあまり感じず、味わう間もなく初夏になっていきます。季節の移り変わりがあつたように思います。味わい深いものがあつたように思います。そこには、地球温暖化の影響もあるのだと思います。春と秋がどんどん短くなってきたりするように私は感じます。また、季節の風物詩でもある「祭り」などの行事も少なくなってきたり、地域もあちこちで寂しい地域も出てくるようになります。

私は令和二年に大きな手術をしました。それからは、健康保持のためと、たった二キロですが、毎日散歩をしています。その途中でのあいさつ程度に交わす会話が今の私の大きな楽しみの一つです。

一人での生活が長く続くと人の会話が少なくなっていくこともありますが、減らさず、老いを感ずる足腰の衰え体力の減少は、せめて気持ち「気力」だけは、老いてしまわないように思っています。日々の生活の中からは、元気を発見して一日一日を豊かに、情緒のある季節の移り変わりを豊かに感じたい。何かを見つけている。M・S

雑記

資源を大切に! この用紙は再生紙を使用しています。



編集発行/社会福祉法人 阿久比町社会福祉協議会

〒470-2212 阿久比町大字卯坂丸の内85番地 電話 (0569) 48-1111 内線 1523・1524 ホームページアドレス <http://www.agui-shakyo.or.jp>